

# 「福島の実情を知ることが大事」

東京電力福島第一原発事故の被害者の支援を考える座談会「『福島』に寄り添うため

中村で座談会

に」が二十四日、中村区の国際協力機構（JICA）中部であった。

名古屋NGOセンター

## 支援団体が活動を報告



一が企画し、市民団体などが企画し、市民団体などに所属する二十五人が参加した。チェルノブイリ原発（昭和区）の河田昌東

福島第1原発事故の被災地の支援を紹介する河田理事＝中村区で

理事（左）は、福島事故後の国内での活動を報告した。

福島県南相馬市で地点ごとの放射能のデータを集め、住民に放射能の測定サービスをしていることを紹介。

「まずは正しい事実を知ることが大事。その上で現地の人の生活や思いを想像し、支援の形を考えてみては」と訴えた。（鈴木龍司）